

田園調布小学校 教育活動改善案についての報告

～ 令和2年度学校評価アンケートの分析結果より ～

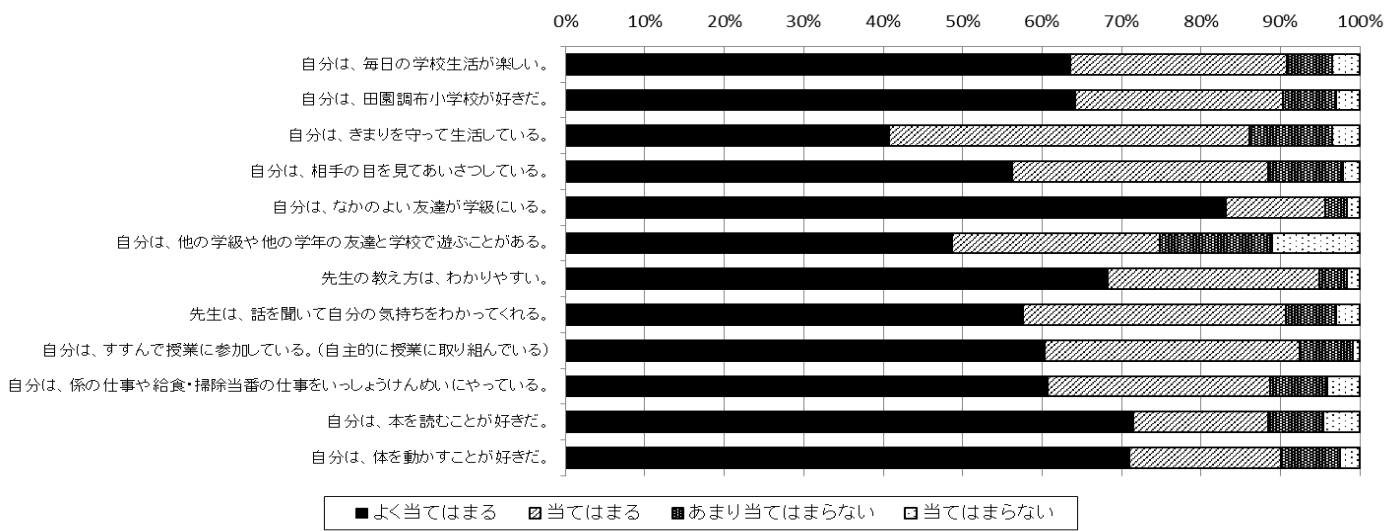
今年度も学校評価アンケートに御協力いただき、ありがとうございました。その結果についてお知らせいたします。また、本結果等を踏まえ、次年度に向けて本校の教育活動の方向性についてお知らせします。

【児童】（回収率：97%）

ほぼ、昨年度と同様の傾向となりましたが、「学校が楽しい」「学校が好き」「先生の教え方は分かりやすい」「自主的な学習態度」「本を読むことが好き」という項目に対しては、「よく当てはまる」という評価が昨年度より大きく上昇しました。今年度は、開校95周年という記念すべき年で、愛校心を育む貴重な機会となったようです。一方、コロナ禍を反映してか、「他の学年との遊び」や「目を見て挨拶」の項目は、肯定的な評価が昨年度より下回りました。しかし、日々の生活で様々な制限が多い中、子どもたちは自身の生活を見直し、大変よくきまりを守って感染症拡大防止に努めていました。挨拶も、相手意識を重視した目を見て相手に伝わる丁寧な挨拶を目指しているため、児童の評価は自身に厳しい結果となっていますが、5・6年の代表委員による自主的な「挨拶運動」の輪が広がり、校内では昨年度以上に気持ちのよい挨拶が響いています。

今後も、児童一人の声を丁寧に受け止め、児童との信頼関係を深めてまいります。そして、保護者・地域とのつながりを深め、知徳体のバランスのとれた児童の育成に努めていきます。

児童全体



○ GIGAスクール構想の実現に向け、教育のICT化を推進します。

2月に、児童一人1台のタブレットが貸与され、家庭への持ち帰りも始まりました。

- ・コロナ禍におけるICTを活用したリモート学習など、学びを止めない教育環境を構築する。
- ・児童の理解度や特性等に応じた学習を展開し、個別最適化された学びを実現する。
- ・教員による対面指導とICTを活用したリモート学習を組み合わせた『学びのハイブリット化』の検討、実践を行う。
- ・学校と家庭での学習の連続性を強化していく。

そのために、本校では、次年度、ICTの効果的な活用について校内研究に位置付け、「主体的・対話的で深い学び」の充実のために、授業の質を更に高めていきます。

○ 東京2020 オリンピック・パラリンピックが開催されます。

全校児童がオリンピック・パラリンピックの競技を観戦します。7月26日(月)には3・4年が、オリンピック競技[大井ホッケー競技場でホッケー]を、9月1日(水)には1・6年が、パラリンピック競技[オリンピックスタジアムでパラ陸上]を、9月4日(土)には2・5年が、パラリンピック競技[有明体操競技場でボッチャ]を観戦予定です。

(裏面 保護者アンケート)

【保護者】（回収率：91%）

14項目全てで、肯定的な評価（よく当てはまる・当てはまる）が90%を超える高い評価をいただきました。また、全般的に昨年度とほぼ同様な傾向が見られましたが、14項目中、13項目で肯定的な評価の内の「よく当てはまる」という評価の割合が昨年度を上回っています。コロナ禍で様々な制限がある中でしたが、「保護者・地域と連携し開かれた学校を推進している」ことについて満足いただける回答の高い上昇率が見られました。今後も保護者や地域の皆様の声を真摯に受け止め、学校改善に邁進してまいります。また、昨年度より肯定的な評価が上がっているものの、全ての子どもたちの安全・安心のための「いじめ防止等に対する取り組み」については、今後も組織をあげてきめ細やかに取り組んでまいります。



○ PTAと連携し、感染症拡大防止に向けての取り組みを更に強化するとともに、行事の精選を行い、情報共有や情報交換の場を充実させます。

昨年度は、コロナ禍のため、臨時休業や行事の中止・制限等で、保護者の皆様には御迷惑・御心配をおかけしましたが、「3密」を防ぐための学校からのお願いに御理解・御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

次年度以降も、感染症の状況を踏まえ、児童の安全・安心を最優先にしながら、学校運営を進めてまいります。こうした状況下だからこそ、保護者の皆様との情報共有や情報交換の場を大事にし、保護者会、個人面談、公開授業、教育相談日などを充実させるとともに、学校から発信するお便り（学校・学年・学級、保健、食育・給食、生活指導、各行事の実施やアンケート結果等）だけでなく、緊急メールの配信やホームページの有効利用、リーフレット（学校紹介、教育活動報告）の配布など、迅速で丁寧な情報発信に努めてまいります。

学校公開は、引き続き、土曜日の全日授業公開を年3回とし、その他、土曜日や平日にも授業の一部を公開します。更に、小中一貫教育や校内研究会の公開も行っていく予定です。また、運動会をはじめ、各種行事のねらいや実施方法を見直し、引き続き、学校と家庭、地域との協力・連携の中で児童の育成に努めてまいります。

○ いじめの早期発見、防止に努めます。

本校では、これまでも、いじめ防止に向け、担任はもちろん、校長、副校長、専科教諭が児童の訴えに真摯に耳を傾け、「いじめ防止基本方針」（ホームページで公開中）の下、全学級で毎学期、いじめに関するアンケートを実施し、「いじめ防止対策委員会」の月1回、生活指導連絡会の週1回の開催による情報共有、カウンセラーや関係機関等の連携を組織的に進めてまいりました。また、2学期は、一人一人の児童との面談も実施しておりますが、それらが決して形骸化することなく、いじめの早期発見・防止に繋がるよう、次年度も引き続き、重点施策の1つに位置付けて取り組んでまいります。

○ 学校施設の有効活用のための設備の充実や安全対策に努めます。

今年度も児童の安全・安心を確保するために、大田区教育委員会が体育館の空調工事や屋上のフェンスの修理、トイレ内の手洗い水道の自動水栓化等を行うとともに、用務主事が中心となって、日々の学校施設の安全整備を行ってきました。次年度には、施設の改善・充実が更に進む予定です。御理解・御協力をよろしくお願いいたします。